

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	－ ()
目標年度	令和14年度
市町村名 (市町村コード)	日野町 25383
地域名 (地域内農業集落名)	必佐地区 (小谷集落)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	18.6 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	17.5 ha
② 田の面積	18.6 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	0.0 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	17.0 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	0.0 ha
(参考) 区域内における65才以上の農業者の農地面積の合計	15.2 ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	15.2 ha
(備考)	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

- ・認定農業者へ農地を集約し営農組合による営農を行ってきたが、全員が高齢となり組織の存続が困難となってきた。
- ・農地の集約を行ってきたがえに農家戸数が激減した。
- ・地区には農業後継者もなく、山間谷田・湿田と狭小農地のため他所からの耕作者がない。
- ・1法人入り作しているが、農道・用排水路の法面草刈りや補修には一切協力を得られない。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

- ・土地持ち非農家へ営農組合の参加を促し、作業受委託を充実した営農組合の再構築を図る。
- ・水稻・麦を主要作物とし、整形田で比較的湿害の少ない農地を全て麦を生産することにより、作業の分散と労働力の軽減を図る。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1)農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
現在任意の営農組合で育苗・土壌改良資材散布・畔塗り・田植え・収穫作業を請け負っているが、その営農組合を更に充実し、土地所有者とともに全作業受託を行う営農組合として農地の利用と維持管理を行う。			
(2)担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	77.4	%	将来の目標とする集積率
			4.8 %
(3)農用地の集団化(集約化)に関する目標			
法人化しない収支一元化した営農組合へ農地を集約するとともに、水稻と麦の圃場の集団化に取り組む。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
担い手への農地集積を行いつつ、定期的に目標地図の見直しと営農組合の活動についての話し合いを行う。
(2)農地中間管理機構の活用方法
集落内農地所有者のほぼ全員が平成28年1月1日から平成38年12月31日までの利用権設定を行っているが、令和8年12月31日に設定期間が終了するため、地域営農の確立のため利用権設定を活用する。
(3)基盤整備事業への取組
湿田・中山間地域での再基盤整備は必要としない。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
特に取り組まない。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業体等への農作業委託の取組
湿田・中山間地域での作業ができる組織や事業者がいない。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

☒ ①鳥獣被害防止対策	☒ ②有機・減農薬・減肥料	☒ ③スマート農業	☐ ④畑地化・輸出等	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☒ ⑦保全・管理等	☒ ⑧農業用施設	☐ ⑨耕畜連携等	☐ ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

- ①すでに設置してある獣害防止柵の補修や周辺の草刈りを継続して実施する。
②③独自に日々の病害虫発生状況を確認しスマート農業を活用した減農薬・減肥料に取組む。
③衛星画像の解析による圃場ごとの施肥体系を可変施肥田植機の有効活用で減肥料に取組む。
⑦⑧現在4月から8月まで月2回実施している農地所有者・耕作者による農道・用排水路の法面草刈りや補修作業を続けていく。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 14 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
利用者		水稻	ha	※(9.7) ha	水稻・麦	17.0 ha	ha	緑色	収支一元化した営農組織
利用者		水稻	1.0 ha	ha		ha	ha		
利用者		水稻	0.4 ha	ha		ha	ha		
利用者		水稻	1.1 ha	ha		ha	ha		
認農		水稻・麦・大豆	13.1 ha	ha		ha	ha		
利用者		水稻・野菜	0.6 ha	ha		ha	ha		
利用者		水稻	0.3 ha	ha		ha	ha		
利用者			0.1 ha	ha		ha	ha		
認農		水稻・麦・大豆	0.4 ha	ha		ha	ha		
認農		水稻・野菜	0.9 ha	ha	水稻・麦	0.9 ha	ha	A	
利用者		水稻	0.3 ha	ha	水稻	0.3 ha	ha	B	
利用者		水稻	0.4 ha	ha	水稻	0.4 ha	ha	C	
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	12経営体		18.6 ha	0 ha		18.6 ha	0 ha		

- 注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業体(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。
2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。
3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。
4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。
5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業体一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)	-	うち計画同意者数(人・%)	-
-------------	---	---------------	---

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。
注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。
注3: 提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

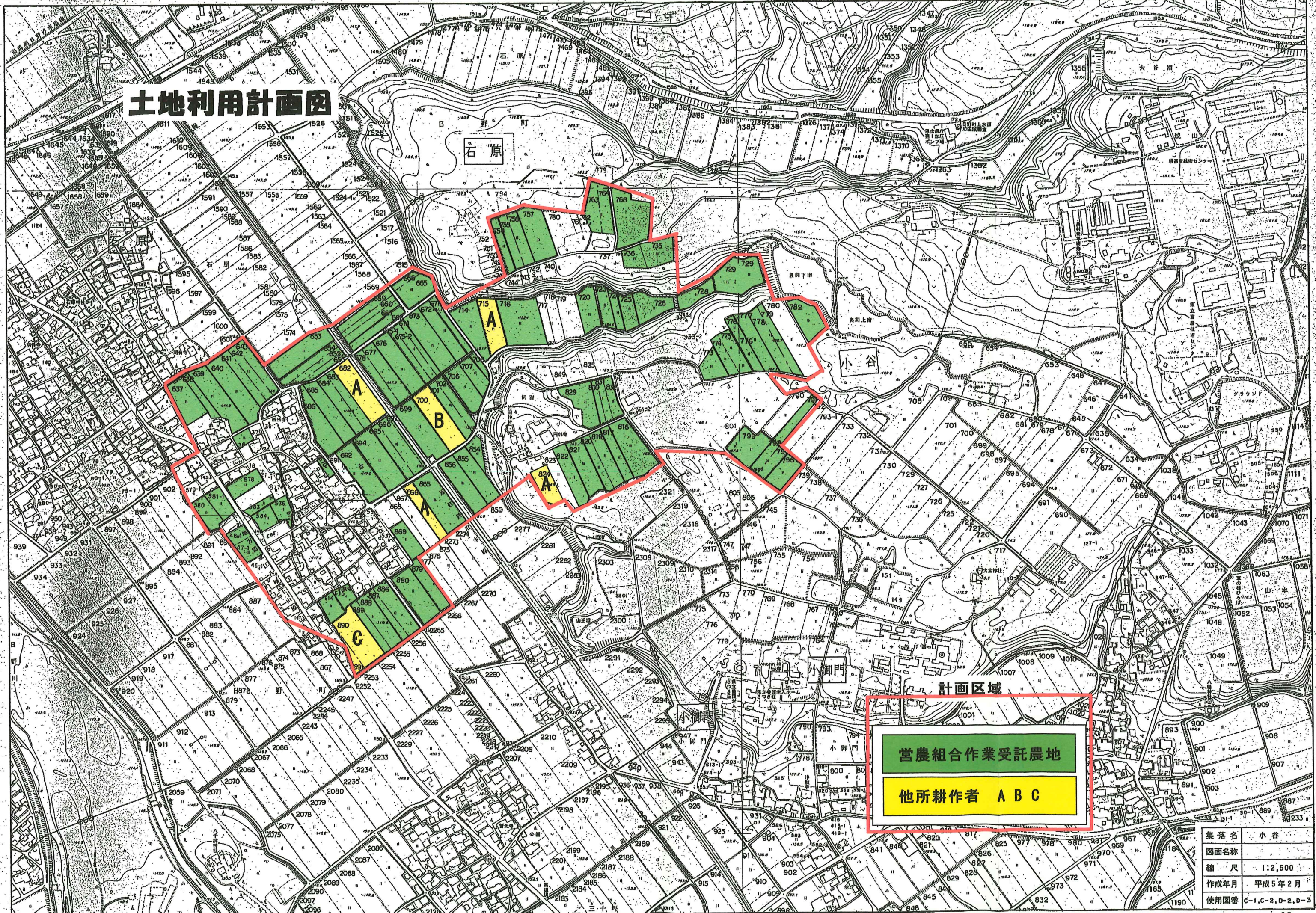
(留意事項)

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有に当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

土地利用計画図



計画区域

営農組合作業受託農地

他所耕作者 A B C

集落名	小谷
図面名称	
縮尺	1:2,500
作成年月	平成5年2月
使用図番	C-1,C-2,D-2,D-3